

GX人材育成・組織開発 伴走支援のご紹介

株式会社スキルアップNeXt

 **スキルアップ**Green





脱炭素時代の組織変革と人材育成を
共に進める伴走パートナー

会社名	株式会社 スキルアップNeXt
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目40-5
設立	2018年5月
役員+社員(連結)	83名 (2025年6月時点)
代表者	田原 真一
資本金	1億2,300万円 (資本準備金含む)
事業内容	AI / DXを中心としたデジタル人材育成事業 データ分析・AI開発に関わるコンサルティング、システム開発事業 GX (Green Transformation) 人材育成事業 AI / DXを中心としたデジタル人材特化型 採用支援事業 Webサービス開発事業
所属	日本ディープラーニング協会 正会員、データサイエンティスト協会 正会員 産業技術総合研究所 ディープラーニングワーキンググループメンバー 量子技術による新産業創出協議会 / 日本統計学会 一般社団法人 日本経済団体連合会 (略称：経団連) GXリーグ GX人材市場創造WG リーダー



なぜ今、GX 人材の育成が必要か？

1 競争力の維持・強化のための環境対応力の向上

各国の脱炭素政策や環境規制に迅速かつ確実に対応することで、企業の競争力を高めます。全社員のGXリテラシーと専門知識を持つGX推進人材の確保は、その実現に不可欠です。

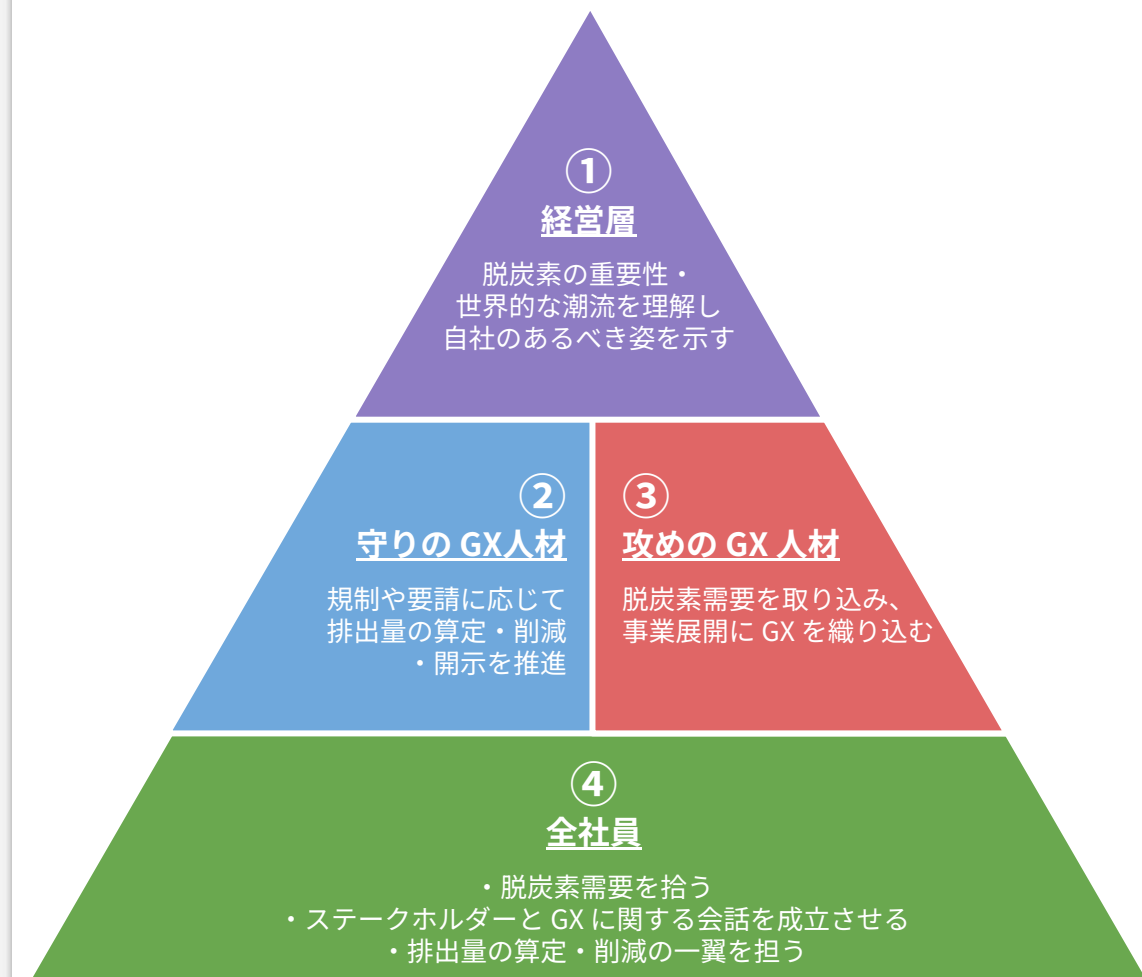
2 サプライチェーンおよびパートナーシップの強化

GX推進には、サプライチェーン全体での連携が重要で、パートナーからの要求に応える必要があります。パートナーと知識レベルを揃えることで、ビジネスの縮小リスクを回避し、新たな機会を創出できます。

3 企業価値と社会的評価の向上

サステナビリティやESG要素の財務化が進む中、GX人材の育成は企業の社会的評価を高め、ステークホルダーからの信頼獲得や従業員のエンゲージメント向上につながります。

企業に必要な GX 人材

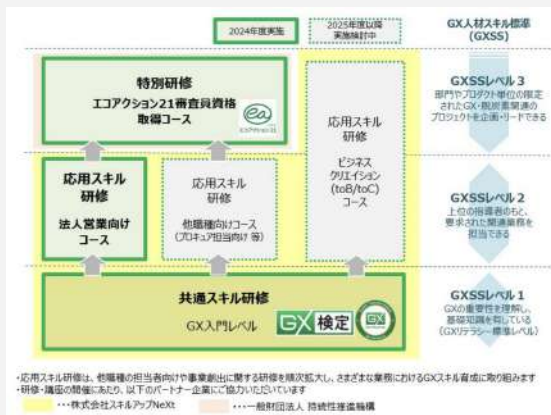


GX人材育成・組織構築支援の実績

GX/サステナビリティ推進組織構築のプロフェッショナルとして **約600社**の企業・自治体に教育プログラムを提供しています



NTTドコモグループ、国内初、GXリーグ内で提唱された「GXスキル標準」に準拠した人材育成プログラムを導入



様々なメディア協力

NHK 「おはよう日本」 2024年7月3日放送 [WEB特集](#)



2024年6月28日 16時11分 脱炭素社会への動き



日本経済新聞 2024年6月10日 (有料)
「GX、適材200万人不足 人材競争で年収1000万円提示も」

GX人材の定義とスキル

アナリスト

主な役割: 温暖化ガスの排出量算定

スキル: 情報開示を見据えた算定と立案

ストラテジスト

排出量削減の計画化

削減計画の分析・実行

インベンター

計画を実現する技術開発

商品や事業の開発スキル

コミュニケーター

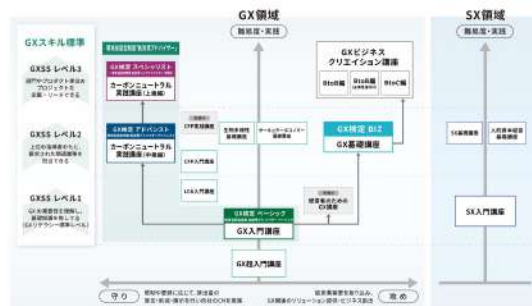
関係者との交渉や実現推進

広報や営業のスキル

(注) GXスキル標準を参考に日経作成

① GX人材育成

入門から実践、守りから攻めまでのGXをカバーする日本唯一の体系的なカリキュラム。企業に必要なSX/GX教育をトータルでカバー



② GX検定（日本初、環境省認定の検定）

日本初、環境省認定制度「脱炭素アドバイザー」認定の検定を主催。企業や個人の学習ニーズに応じた4種類の検定を実施



③ GXアセスメント

経済産業省GXリーグ「GXリテラシー標準」に完全準拠した、スキルのアセスメントツール。定量評価を通じて、『測定 → 学習 → 実践』の好循環を確立し、組織全体でGXケイパビリティを効果的に向上させることが可能



④ Green Leaders Network

GX社会を共に実現する 行動するリーダーのための 共創ネットワーク。GX・サステナビリティをリードする担当者が業界の第一線で活躍を続けるために、知識やアイデアを共有し学び合う場



日本のGX人材のルール形成をリード

経済産業省GXリーグにおいて、GXスキル標準策定を目指したWGのリーダーを務め、育成ルールづくりを推進



－ GX人材の類型化 －



記者発表の様子（24.5）

- GX アナリスト**
- GX ストラテジスト**
- GX インベンター**
- GX コミュニケーター**

GXリテラシー標準を策定

－ 役割やレベルに応じて複数のGXスキルを標準化 －



GXスキル標準（GXSS）

GXリテラシー標準（GXSS-L）

GX推進スキル標準（GXSS-P）

GXリテラシー標準（GXSS-L）

Why

GXの背景

自然環境の変化
国際社会の変化
ビジネス環境の変化

What

何をすべきか

気候関連リスク・機会の把握
サプライチェーン排出量の算定
排出削減目標の設定・計画の策定
削減対策の実行
気候変動に関する情報開示
ビジネスモデルの変革

How

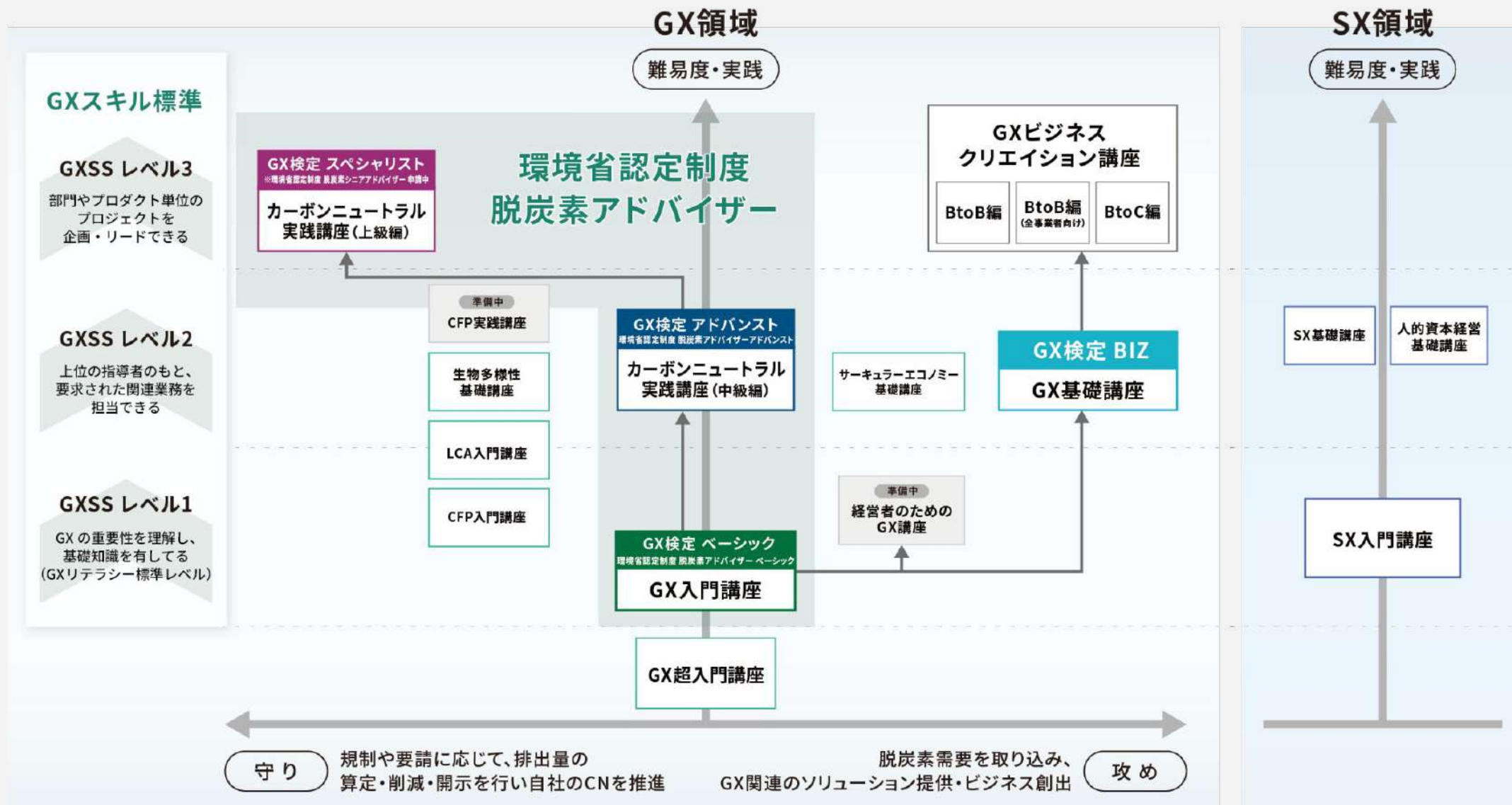
どうすべきか

省エネの推進方法
再エネの調達方法
燃料・原料転換、新素材
NETsの採用
排出量取引・クレジット
サステナブルファイナンス
国・自治体の政策
取り組み事例

Mind/Stance

マインド・スタンス

バックキャスト
変化への挑戦
コラボレーション
エンゲージメント
多角的思考
継続学習



①総合学習プラットフォーム

マイクロラーニング可能なeラーニング教材に加え、理解度テスト・問題集アプリ、模試等を完備。最新の時事内容も高頻度で更新し、検定合格後は、無料で継続学習が可能



②GXスキル標準に完全準拠

経済産業省GXリーグで策定した「GXスキル標準」にいち早く準拠。GX推進に必要な人材を計画的に育成・配置でき、簡単に学習計画を立てることができます

GXリテラシー標準（GXSS-L）

Why

GXの背景

自然環境の変化
国際社会の変化
ビジネス環境の変化

What

何をすべきか

気候関連リスク・機会の把握
サプライチェーン排出量の算定
排出削減目標の設定・計画の策定
削減対策の実行
気候変動に関する情報開示
ビジネスモデルの変革

How

どうすべきか

省エネの推進方法
再エネの調達方法
燃料・原料転換、新素材
NETsの採用
排出量取引・クレジット
サステナブルファイナンス
国・自治体の政策
取り組み事例

Mind/Stance

マインド・スタンス

バックキャスト
変化への挑戦
コラボレーション
エンゲージメント
多角的思考
継続学習

③柔軟なカスタマイズ対応

GX/サステナビリティ人材戦略の策定支援から対応でき、企業の取り組み状況、業界や職種に特化した内容へのカスタマイズが可能

- ・人材ポートフォリオ・ラーニングパスの構築支援
- ・自社事例や業界に特化した内容にカスタマイズ対応
- ・特定の従業員層への対応
 - ▶経営層向け
 - ▶営業向け
 - ▶技術者向け 等
- ・サプライヤー・パートナーのGX教育として活用



GX検定は、GX 推進に欠かせない体系的な知識・スキルを証明する、全ビジネスパーソン向けの検定試験です。3つのレベルに分かれており、業種や職種を限定せず、様々な目的での活用が可能です。試験合格者は「環境省認定制度 脱炭素アドバイザー」を名乗ることが可能となります。

類型
環境省認定制度 脱炭素シニアアドバイザー 【認定申請中】※1

対応講座
カーボンニュートラル実践講座（上級編）（講座6h + 演習2h）

人材像
自業界のトレンドを理解し、自社への影響を正しく捉え、Scope1,2,3の算定、GHG削減目標の設定・実行、気候変動に関する情報開示の一連をリードできる

類型
環境省認定制度 脱炭素アドバイザー アドバンスト

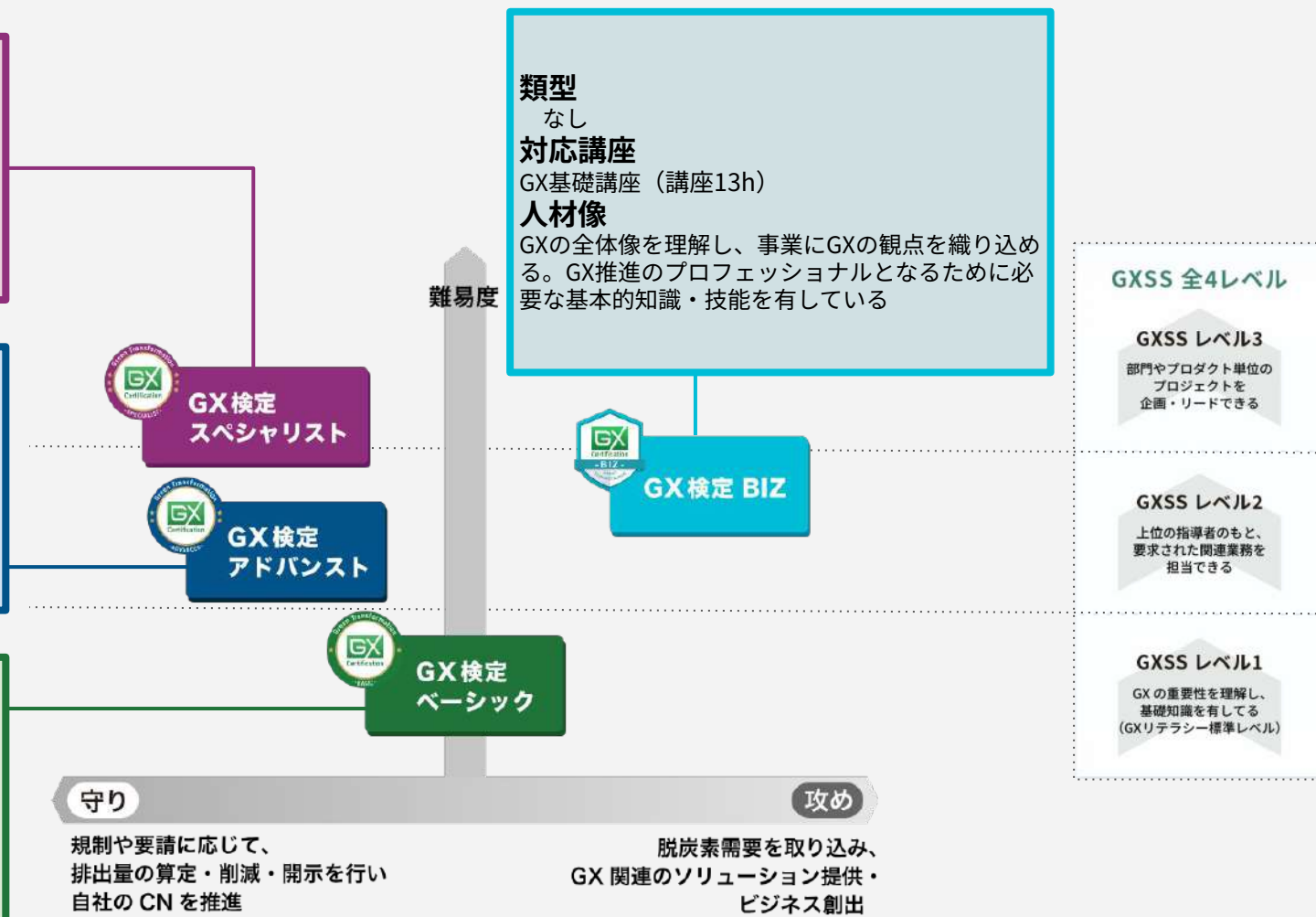
対応講座
カーボンニュートラル実践講座（中級編）（講座6h + 演習4h）

人材像
上位者の指示の下、Scope1,2の算定や開示ができ、企業共通の排出量削減手法を説明できる

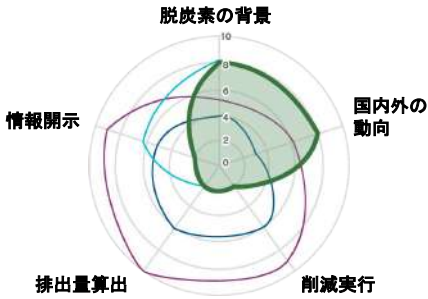
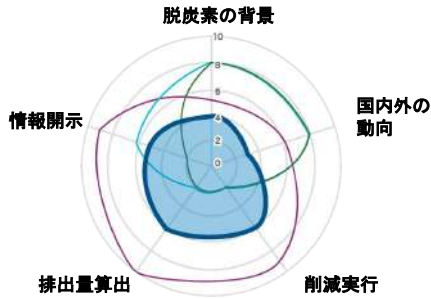
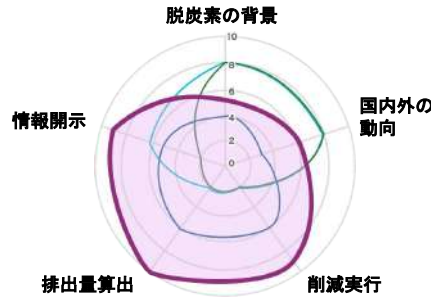
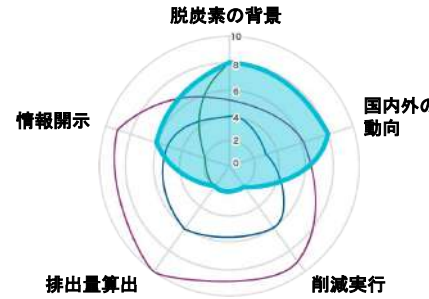
類型
環境省認定制度 脱炭素アドバイザー ベーシック

対応講座
GX入門講座（講座7h）

人材像
基本的な国内外動向・ルール・標準等を理解し、企業の気候変動に関する開示意義が説明できる



※1...GX検定 スペシャリストは、「環境省認定制度 脱炭素シニアアドバイザー」に申請中です

類型	環境省認定制度		環境省認定制度		環境省認定制度		認定申請中
	脱炭素アドバイザー ベーシック		脱炭素アドバイザー アドバンスト		脱炭素シニアアドバイザー		
資格	 GX検定 ベーシック 6,600 円(税込)	 GX検定 アドバンスト 12,100 円(税込) 受験には、『カーボンニュートラル実践講座(中級編)』を受講していることが条件となります	 GX検定 スペシャリスト 23,100 円(税込) 受験には、『GX検定 アドバンスト』に合格しており、『カーボンニュートラル実践講座(上級者編)』を受講していることが条件となります	 GX検定 BIZ 12,100 円(税込)			
対応講座 ・ 受講料	GX入門講座 講座 7時間 11,000 円 (税込)	カーボンニュートラル 実践講座(中級編) 講座 6時間 + 演習 4時間 60,500 円 (税込)	カーボンニュートラル 実践講座(上級編) 講座 6時間 + 演習 2時間 132,000 円 (税込)	GX基礎講座 講座 12時間 60,500 円 (税込)			
人材像	基本的な GX 関連事項を説明できる	上位者の指示の下、算定や開示ができ、企業共通の排出量削減手法を説明できる	自業界のトレンドを理解し、 GHG 削減目標の設定・実行、気候変動に関する情報開示をリードできる	GX 推進のプロフェッショナルとして、体系的な知識・技能を有している			
得られる知識							

①充実した学習支援

検定対策として、スキマ時間を使って効率的に学習が可能なスマートフォンアプリ（iPhone・Android対応）や、実際の検定試験と同じ環境で繰り返し受けることのできる模擬試験など、様々な学習支援を活用可能



②GXの第一人者と共同開発

GX検定に対応した教材は、GX実行会議の構成員も務める業界の第一人者である竹内純子氏と共同開発



U3イノベーションズ合同会社 共同代表
NPO法人国際環境経済研究所理事
東北大学特任教授

竹内 純子氏 Sumiko Takeuchi

東京大学大学院工学系研究科にて博士（工学）。慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、東京電力株式会社で主に環境部門に従事した後、独立。気候変動に関する国連交渉（COP）にも長く参加し、環境・エネルギー政策の研究・提言を続け、東北大学特任教授、GX実行会議や規制改革推進会議等の政府委員を多数務める。2018年10月U3イノベーションズ合同会社を創業し、共同代表に就任。スタートアップと協業し、新たな社会システムとしての「Utility3.0」の実現に向け、政策提言とビジネスの両面から取り組む。

③自宅で受験が可能

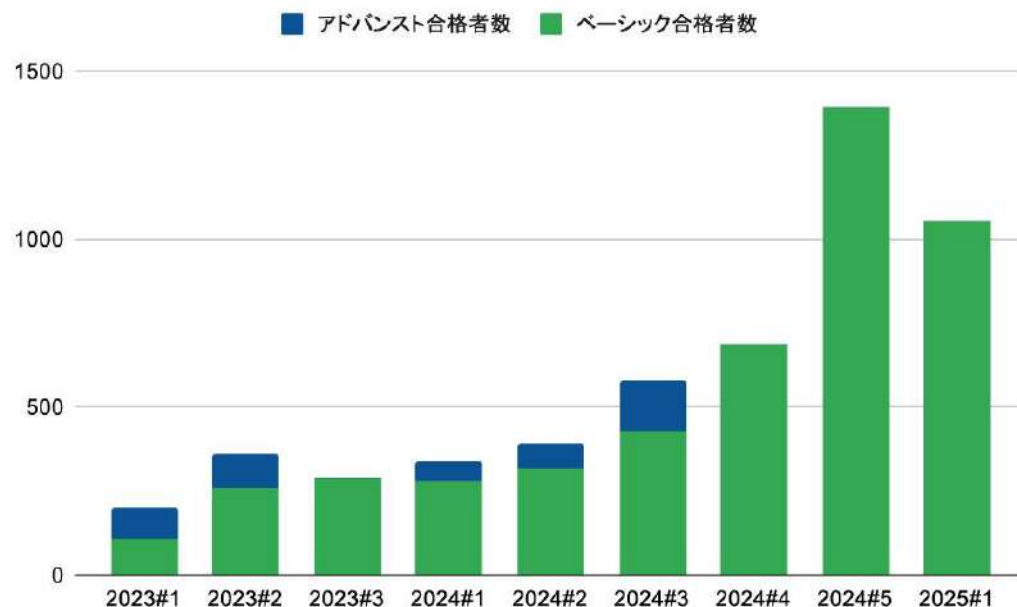
自宅受験可能な「脱炭素アドバイザー」認定試験で、本人認証機能・カンニング防止機能を完備

※受験には、Webカメラ付きパソコン、本人確認書類（マイナンバーカードor運転免許証）、スマートフォンが必要です



累計5,000人を超える脱炭素アドバイザーを輩出

2023年の検定開始から受験者は着実に増加。
GX検定 ベーシックから4,824名、GX検定 アドバンストから264名、合計で5,088名の環境省認定制度 脱炭素アドバイザーを輩出
(2025年3月時点)



GX人材のコミュニティ「合格者の会」を主催

GX検定合格者が集まる「合格者の会」を開催。
講演や合格者LT、ネットワーキングで人材の交流と相互の触発をサポートし、個人の成長と企業のGX推進を加速させます。

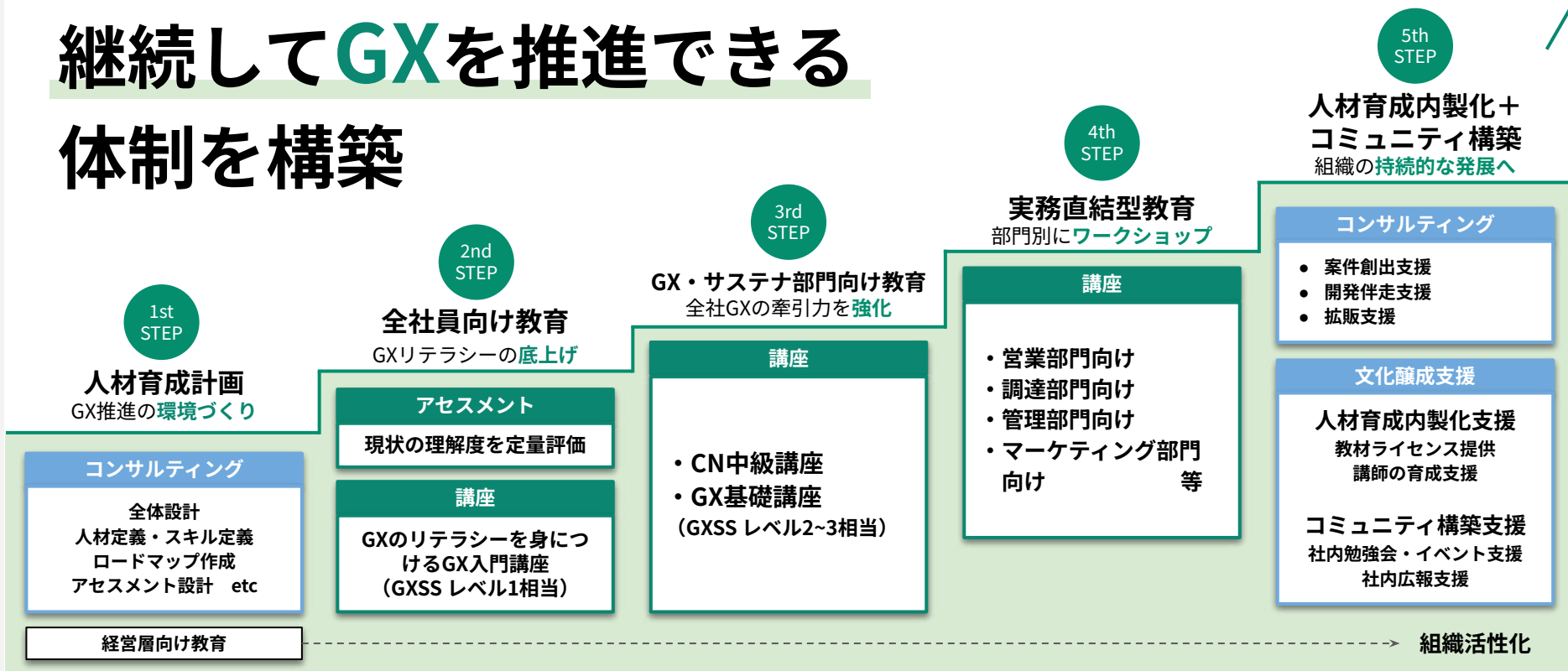


第1回の開催では約80名が参加。「脱炭素アドバイザー」を管轄する環境省から、大臣官房 環境金融推進室 室長 清水 延彦様にもお越しいただき、激励のお言葉を頂戴しました（写真右）

当日の様子は[こちら](#)より動画をご覧ください



継続してGXを推進できる体制を構築



Point 1

環境づくりから人材教育、コミュニティ構築までトータルサポート

幅広いプログラムの提供を通じ、組織の成長と競争力強化につなげる

Point 2

学んで終わりではない学びを実務につなげる

課題解決型学習（PBL）を通じて、実務に直結する力を身につける

Point 3

学びのPDCAサイクルを回し自律的な成長へ

学習後のアウトプットやアンケート、アセスメントを通じて、人材育成の取り組みのPDCAを回す

日本初！ 環境省認定制度「脱炭素アドバイザー」認定資格

2024年9月時点では、GX検定 ベーシックが「環境省認定制度 脱炭素アドバイザー ベーシック」GX検定 アドバンストが「環境省認定制度 脱炭素アドバイザー アドバンスト」として認定を受けておりGX検定 スペシャルリストについては、環境省に認定申請中です



認定

脱炭素アドバイザー
資格認定ガイドライン

GX 検定



試験に合格

日本初の認定



試験合格者は

環境省認定制度脱炭素アドバイザー

を名乗ることが可能

- ・ GHG排出量計測・排出量削減に向けたアドバイス
- ・ 脱炭素経営に向けた指針提示等

一般事業法人等

出典：環境省「[脱炭素アドバイザー資格の認定制度](#)」

厚生労働省が22年12月に新設した「事業展開等リスキリング支援コース」を活用すると、GX人材育成にかかる費用が最大で75%助成※1されます。

例えば！

CN実践講座(中級編)

(10時間:動画6時間・演習4時間) ※2

~~60,500 円~~

(税込 / 1名あたり)



75%OFF

15,125 円

(税込 / 1名あたり)

※1 中小企業の場合は最大75%助成。大企業の場合は最大60%助成。

※2 助成金の要件として標準学習時間が10時間以上が必須となります。

申請の流れ

助成金の支給可否は、提出する事業展開等計画や能力開発計画によって決まるため、申請前に必ず労働局またはハローワークへご相談ください

前提

社内の職業能力開発推進者の選任
社内の事業内職業能力開発計画の策定

訓練実施計画届の提出

訓練開始日から 1 か月前までに訓練実施計画届・年間職業能力開発計画他、必要書類を各都道府県労働局へ提出

訓練の実施等

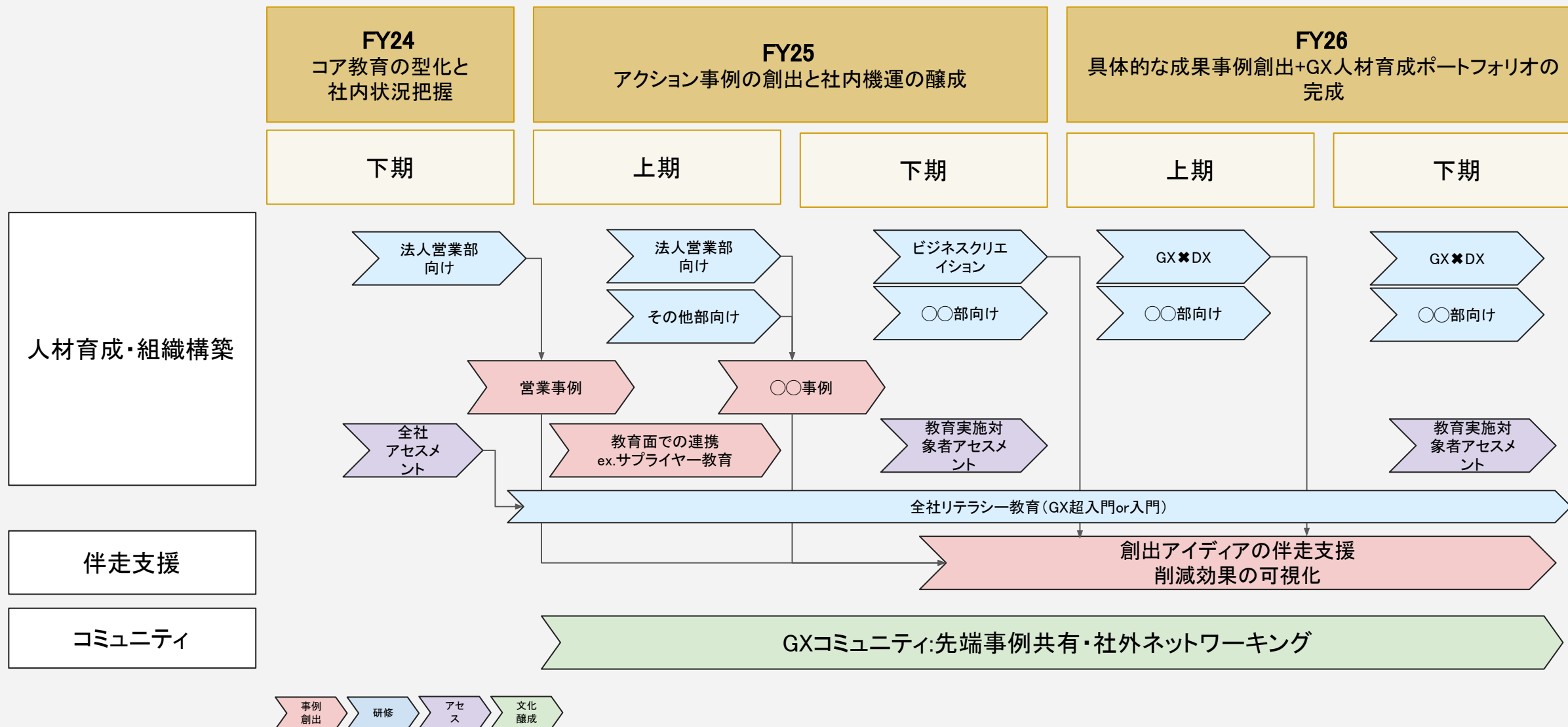
訓練の実施
※訓練にかかる経費は支給申請までに払い終えていること

支給申請書の提出

訓練終了日の翌日から起算して2か月以内に「支給申請書」と必要な書類を労働局に提出

助成金の支給可否の決定

支給審査を実施し、支給・不支給を決定



お問い合わせ

株式会社スキルアップNeXt

東京都千代田区神田神保町二丁目40番5号 東久ビル7階



03-4405-3379



info@skillupai.com



スキルアップグリーン

検索



<https://green-transformation.jp/>



スキルアップNeXtは
GXリーグに賛同しています。